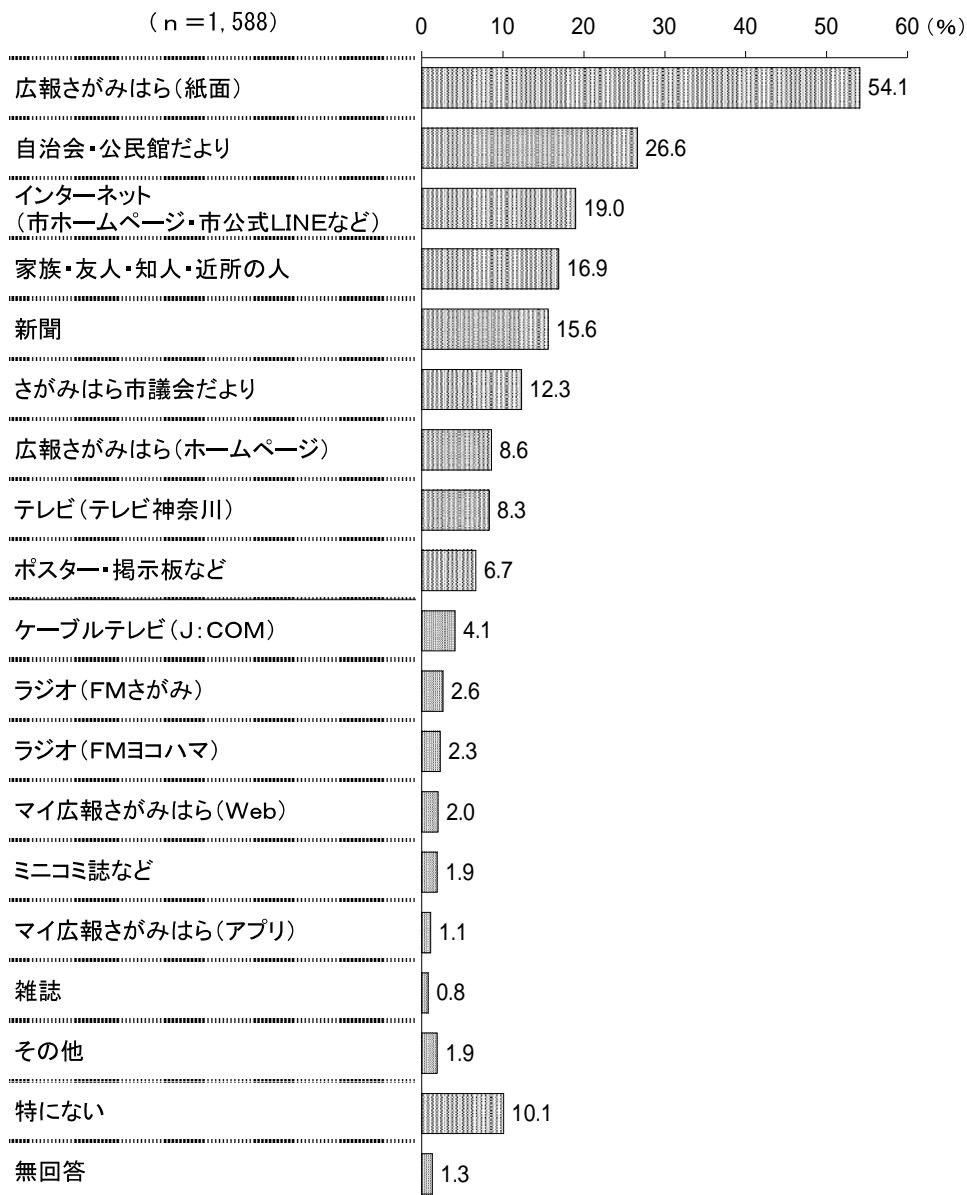


2 広報紙について

(1) 市の情報を得る手段

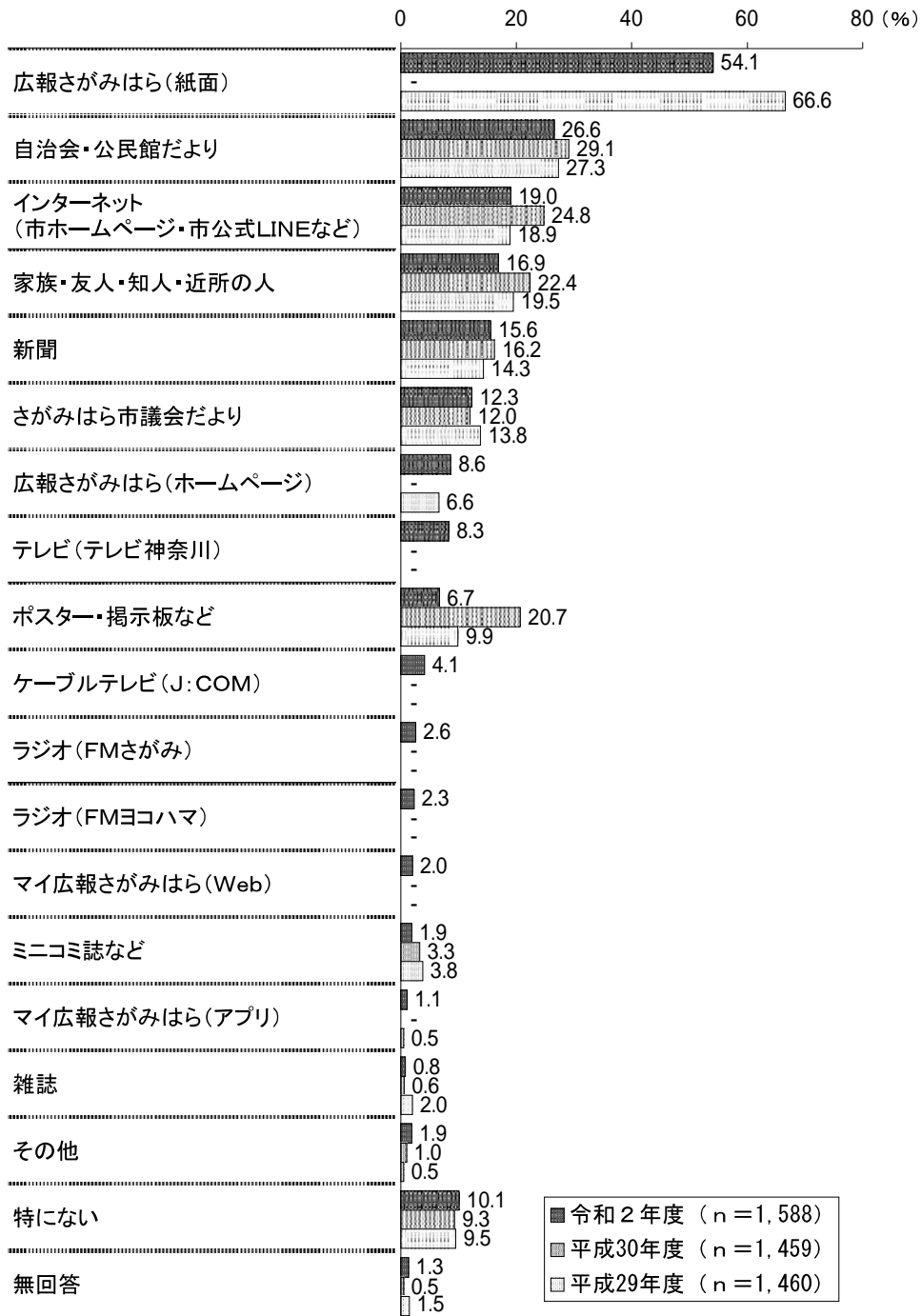
問4 あなたは、相模原市の情報を日ごろ何から得ていますか。(〇は主なものから3つまで)



相模原市の情報を日ごろ何から得ているかたずねたところ、「広報さがみはら(紙面)」(54.1%)が5割半ばで最も高く、次いで、「自治会・公民館だより」(26.6%)、「インターネット(市ホームページ・市公式LINEなど)」(19.0%)、「家族・友人・知人・近所の人」(16.9%)、「新聞」(15.6%)と続いている。

<経年比較>

過去の調査結果との比較は、選択肢が大幅に異なるので参考に図示する。



- ※「広報さがみはら(紙面)」と「広報さがみはら(ホームページ)」は平成30年度では「広報さがみはら」(51.7%)となっていた
- ※「テレビ(テレビ神奈川)」と「ケーブルテレビ(J:COM)」は平成29年度、平成30年度では「テレビ(テレビ神奈川・J:COM)」(平成29年度(8.4%)、平成30年度(7.2%))となっていた
- ※「ラジオ(FMさがみ)」と「ラジオ(FMヨコハマ)」は平成29年度、平成30年度では「ラジオ(FMさがみ・FMヨコハマ)」(平成29年度(6.8%)、平成30年度(4.7%))となっていた
- ※「マイ広報さがみはら(Web)」は今回調査から追加された選択肢
- ※「マイ広報さがみはら(アプリ)」は平成30年度ではなかった選択肢

<性別・性／年齢別・区別結果> (上位10項目)

性別でみると、「家族・友人・知人・近所の人」は女性が男性より6.8ポイント高くなっている。一方、「さがみはら市議会だより」は男性が女性より5.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「広報さがみはら（紙面）」と「自治会・公民館だより」は男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて高くなっている。「インターネット（市ホームページ・市公式LINEなど）」は女性30～39歳で4割を超えて高くなっている。

区別でみると、「広報さがみはら（紙面）」は緑区で6割近くと高くなっている。「自治会・公民館だより」は中央区で3割を超えて高くなっている。

